

説明記述問題を得点源にする方法①

「読む」 読解の方法 正確に読むための W と H

説明記述問題は「難しそう」「めんどくさそう」などの理由からパスされてしまうことが多いようです。その気持はわかりますが、次のように考えてみましょう。「選択問題は間違えればゼロ・説明記述は書いてあれば部分点がもらえる可能性がある」ということです。高校によって採点の基準は異なります。学校によってはおかしくないことが書いてあれば点にはなる、というケースもあります。ですから、可能な限り書いて、部分点でもゲットすべきです。とはいえ、どう書けばよいのかわからなくてははじまりません。本書では「最低限の解答を書く方法」を示します。そのためのポイントは「設問を正確に読む」ことです。あたりまえのことなのですが、なかなか「きちんと」読めていないものです。

これはすべての基本です。失敗してはいけません。減点されるケースの多くは、「正確に読んでいない＝解答がズレている」ことが原因です。そこで、絶対に外せないポイントを2つ記します。

1 「何を」「どう」答えるかに注目して読む 2 「何を」「どう」のポイントにマークする

ポイントを意識し、目をつけ、実際に目印をつけるのです。

では、問題の例です。

問題の具体的な中身や解答は気にしないで、「何を」「どう」答えろといっているか、だけに注目してください。

加熱して液体にしたろうの液面の高さに油性ペンで印をつけ、しばらく放置した。ろうが冷えて固体になったとき、固体のろうの最上部は変化しなかったが、中央はくぼんでいた。また、ろうが液体から固体に変化しても、その質量は変化しなかった。ろうが液体から固体に変化したとき、密度はどうなったと考えられるか。ろうの体積の変化に関連づけて、簡単に書きなさい。

「何を」「どう」答えるか、わかりますか？

はっきりさせるために「何を」をグレーで塗り、「どう」には下線を加えてみます。また、目印として、「何を」には英語の What の頭文字「W」を、「どう」には同じく How の頭文字「H」を書き加えます。これらの記号は、本書でこのあとずっと重要な意味をもちます。おぼえておいてください。

加熱して液体にしたろうの液面の高さに油性ペンで印をつけ、しばらく放置した。ろうが冷えて固体になったとき、固体のろうの最上部は変化しなかったが、中央はくぼんでいた。また、ろうが液体から固体に変化しても、その質量は変化しなかった。ろうが液体から固体に変化したとき、**W** 密度はどうなったと考えられるか。**H** ろうの体積の変化に関連づけて、簡単に書きなさい。

わかりましたか？ 整理します。

What 何を 密度はどうなったと考えられるか

How どう ろうの体積の変化に関連づけて書く

正確に読んで冷静に考えると、これがある種の選択問題であるとわかります。

「密度はどうなったか」ですが、「大きくなった・変わらない・小さくなった」のどれかです。3 択です。体積の変化を加えると、やはり「大きくなった・変わらない・小さくなった」のどれかです。知識が全く無くても、9 とおりの組み合わせから選べば、正解の可能性があります。捨てなくてもよいかもしれません。

ただし、多少でも知識があると可能性は高まります。「質量は変化しなかった」とあるので、体積が大きくなれば密度は小さくなり、体積が変わらなければ密度も変わらず、体積が小さくなれば密度は大きくなるのが推理できます。これらのどれかが正解です。これで3 択問題です。

さらに「最上部は変化しなかったが中央はくぼんでいた」から体積が小さくなったことは読み取れます。こうなったら絶対に捨ててはいけない問題といえます。

次に、書く内容を決めたら、解答の書き方を決めます。基本は設問のとおりを書くことです。

たとえば「ろうの体積が大きくなり、(だから) 密度は小さくなったと考えられる」です。

設問の表現をそのまま使えば、形式がおかしくなる心配はありません。くわしくは次のページで説明します。



「書く」 解答の方法 確実に答えるための4つのコツ

1 「オウムがえし」で確実に答える

—— 設問の言葉を最大限生かして確実な解答を作成する

本書の解説に——W「密度はどうなったと考えられるか」とあるので「～なったと考えられる」と答えます——のような表現が何回も何回もあります。説明記述問題には、文をどうまとめてよいかわからない、という不安がついてまわります。安心してください。確実なワザがあります。それは「オウムがえし」です。要するに、設問の言葉をできる限りそのまま使って解答を作成するのです。

「太閤検地の結果、どのような影響がみられたか」と問われたら「太閤検地の結果、～という影響がみられた」と答えればよいのです。スマートではありませんが、このように答える限り、間違いになることはありません。「この答え方でよかったのだろうか……」という心配があると、その後の問題に身が入らないこともあります。問われたとおりに答えておけば心配はいりません。その点でも効果が大きいので、「自信がなければオウムがえし」で答えることにしましょう。

2 程度を表すときは「大きい・小さい」が安全

—— 困ったら「～が大きい(小さい)」と書く

説明記述では「密度はどうなったか」「速さはどうなったか」「人口はどうなったか」など、変化について答える問題が多く見られます。ここで書き方を誤ると減点または誤答となってしまいます。たとえば「密度が増えた」「速さが速くなった」などです。このような表記のルールは、日本語の難しさの一つで、正確に書こうとすると、おぼえなければならないことが増えて、かえって混乱してしまう人も多いでしょう。

そこで、乱暴ではありますが、安全な書き方を記します。

それは「大きい・小さい」です。密度、速さ(速度)などの「度」がつくものは程度を表します。程度は「大きくなる・小さくなる」でだいたい表現できます。ただし、たとえば「温度」「高度」などは常識的に「高い・低い」と書くべきです。自信がなく、おかしい表現になるくらいなら「大きい・小さい」と書いておくほうが安全であると理解してください。

3 字数指定の許容範囲は原則 20%

—— 「程度」や「以内」の考え方

字数制限がある場合、どのくらいが許容範囲なのか迷うことがあります。まず、「～字以内」とある場合、その文字数を超過したら「×」を覚悟してください。指定された内容を守らないのは誤答とされてもしかたありません。

一方、字数が少ないのはどこまで許されるかというと、確実なのはマイナス 10% まで、一般的にはマイナス 20% まで許されると考えてください。同じように「～字程度」はプラスマイナス 20% までと考えます。「100 字程度」という指定なら、80 ~ 120 字までということです。

—— なお、理論上は 2 文字しか書いていなくても「100 字以内」にはちがいないのですが……20% くらいまでが常識的に許される範囲と考えてください。

4 漢字は絶対に必要……とは限らない?

—— 間違えるよりは仮名のほうがましな場合もある

誤字は確実に減点または誤答となります。では、漢字に自信がないから「かな」で書いたらどうかというと、本来は誤答とする根拠はありません(漢字指定の場合は当然、不可です)。

ただし、「みつどがたかくなった」のような、あまりに幼稚な解答は減点されるかもしれません。国語の試験ではないのである程度は許されますが、なるべく漢字で書くことをすすめます。自信がない場合は、設問や周囲の文を見て同じ漢字がないか探すのも有効です。それでどうしても不安、という場合はかなで書きましょう。誤字よりは減点が小さいと予想できます。



解答例と解説

理科 物理③

- 7 電熱線を用いてカップの中の水温を上げる実験をするため、カップの中に水を入れたところ、水温が室温に比べてかなり低かった。この場合、**W** 水温が室温と同じになるまで放置しておかなければ、電熱線の発熱による上昇温度を正確に測定できない。それはなぜか。**W** その理由を簡単に書きなさい。

■ 解答例 **W** まわりの空気によってカップの水があたためられるから。

■ 解説 **W** 「～なぜか」ですから「～から」で答えます。常識的な現象を説明する問題です。
カップの水の水温が室温より低いと、水温が勝手に室温に近づいてしまいます。このことが書いてあれば正解です。
なお、温度が異なる物質が接しているとき、熱エネルギーはより大きい（熱い）ものからより小さい（冷たい）ものに移動して、最終的にお互いの温度を同じにしようとします。
この問題にある、まわりの空気がカップとその中の水をあたためたという現象は、同時に、まわりの空気の温度が下がったことを意味しています。

- 8 発電機は、電磁誘導を利用して電流を得るものである。図のようにコイルに棒磁石を出し入れすると、電磁誘導により電流が得られる。**H** 図のコイルと棒磁石を用いて、**W** より強い電流を得るにはどうすればよいか、簡潔に説明しなさい。

■ 解答例 **H** 装置の中の棒磁石（またはコイル）を **W** はやく動かせばよい。

■ 解説 **W** 「どうすればよいか」とあるので、「～すればよい」と答えます。誘導電流を大きくするためには、①コイルの巻き数を増やす②磁石の磁力を強くする③磁界の変化を大きくする、このいずれかの方法を用いればよいです。
今回は、**H** 「図のコイルと棒磁石を用いて」とあるので、棒磁石またはコイルをどうするか答えます。
仮に知らなくても「出し入れすると～電流が得られる」のですから、「速く」「ゆっくり」「大きく」「小さく」のどれかだろうと見当をつければ、全く答えられないことはありません。
選択問題ともいえます。説明記述問題でも、このようにあきらめずに考えて書くことで正解の可能性が生まれるものもあります。

- 9 コイルに棒磁石を近づけたり遠ざけたりして、コイルに電流が流れるかどうかの実験をした。棒磁石をコイルの中で動かさずに静止させると、**W** コイルには電流が流れなかった。この理由を、**H** 「磁界」という言葉を用いて簡単に書きなさい。

■ 解答例 コイルの中の **H** 磁界が **W** 変化しないから。

■ 解説 **W** 「この理由」とあるので、「～から」または「～という理由」で答えます。最低限、コイルの中の磁界が変化しないことが書いてあれば正解です。むしろ、あれこれと加えずに「簡単に」書くべきです。
電流は磁界が変化することによって発生します。多くの発電機は、磁石・コイルの組み合わせに力（運動エネルギー）を加え、電流を発生させる装置です。その逆に、電流で磁界を変化させ、運動エネルギーに変えるのがモーターです。モーターに電流を多く流せば、より大きな力（運動エネルギー）が得られます。
ですから、この実験の棒磁石をよりはげしく動かせばより多くの電流をつくり出すことができます。

理科 物理③

■ 7

電熱線を用いてカップの中の水温を上げる実験をするため、カップの中に水を入れたところ、水温が室温に比べてかなり低かった。この場合、水温が室温と同じになるまで放置しておかなければ、電熱線の発熱による上昇温度を正確に測定できない。それはなぜか。その理由を簡単に書きなさい。

■ 8

発電機は、電磁誘導を利用して電流を得るものである。図のようにコイルに棒磁石を出し入れすると、電磁誘導により電流が得られる。図のコイルと棒磁石を用いて、より強い電流を得るにはどうすればよいか、簡潔に説明しなさい。



■ 9

コイルに棒磁石を近づけたり遠ざけたりして、コイルに電流が流れるかどうかの実験をした。棒磁石をコイルの中で動かさずに静止させると、コイルには電流が流れなかった。この理由を、「磁界」という言葉を用いて簡単に書きなさい。

解答例と解説

理科 化学①

- 1 右図のように、加熱して液体にしたろうの液面の高さに油性ペンで印をつけ、しばらく放置した。ろうが冷えて固体になったとき、固体のろうの最上部は油性ペンの印に一致していたが、中央はくぼんでいた。また、ろうが液体から固体に変化しても、その質量は変化しなかった。ろうが液体から固体に変化したとき、**W** 密度はどうなったと考えられるか。**H** ろうの体積の変化に関連づけて、簡単に書きなさい。

■ 解答例 **H** ろうの体積が小さくなったので、**W** 密度は大きくなったと考えられる。

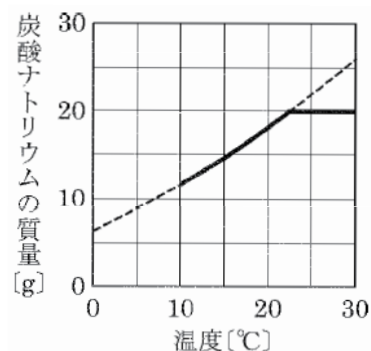
■ 解説 **W** 「密度はどうなったと考えられるか」とあるので、「～なったと考えられる」と答えます。この問題、見方によっては「四択」です。体積が「大きく or 小さく」密度が「大きく or 小さく」を組み合わせるわけです。
あきらめるには惜しいことがわかります。次に、体積がどうなったかは、図から分かります。中央がくぼんだ分、小さくなりました。これで、事実上「二択」問題です。「体積は小さくなったので、密度は～なった」です。
ほとんどの物質は液体から固体に変化すると密度は大きくなります。さらに、体積が小さくなって質量が変わらないのですから「密度は大きくなった」と推理が可能です。これで正解を書くことができます。
なお、**H** 「ろうの体積の変化に関連づけて」とあるので、体積には必ず触れてください。念のため、密度は「大きい・小さい」、または「高い・低い」で表します。

見本版

- 2 右の図は、水の温度と 100 g の水に溶ける炭酸ナトリウムの限度の質量との関係を点線で表したものである。ビーカーに水 100 g と炭酸ナトリウム 20 g を入れ、温度を 10℃ に保ちながら、よくかきまぜたところ、一部の炭酸ナトリウムが溶けきれずに、ビーカーの底に残った。このビーカー内をよくかきまぜながら、**W** 10℃ から 30℃ まで加熱するときの、ビーカー内の水溶液の温度と溶けている炭酸ナトリウムの質量との関係は、どのように表されと考えられるか。**H** 図に実線で、かき入れなさい。

■ 解答例 右の図

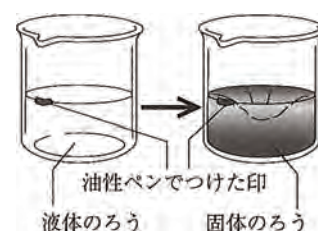
■ 解説 限度の量を示す問題です。ポイントは、まず「炭酸ナトリウムは 20g ある」ということです。
20g に達するまでは、点線をなぞるようにかき、20g に達した後は、20g で一定になるように、“実線”でかく必要があります。
また、**W** にある「10℃ から 30℃ まで」という文面から、0℃ から 10℃ の部分に書きこむと、誤答となってしまいます。



理科 化学①

■ 1

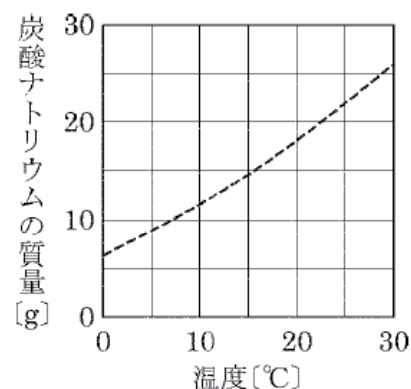
右図のように、加熱して液体にしたろうの液面の高さに油性ペンで印をつけ、しばらく放置した。ろうが冷えて固体になったとき、固体のろうの最上部は油性ペンの印に一致していたが、中央はくぼんでいた。また、ろうが液体から固体に変化しても、その質量は変化しなかった。ろうが液体から固体に変化したとき、密度はどうなったと考えられるか。ろうの体積の変化に関連づけて、簡単に書きなさい。



見本版

■ 2

右の図は、水の温度と 100 g の水に溶ける炭酸ナトリウムの限度の質量との関係を点線で表したものである。ビーカーに水 100 g と炭酸ナトリウム 20 g を入れ、温度を 10℃ に保ちながら、よくかきまぜたところ、一部の炭酸ナトリウムが溶けきれずに、ビーカーの底に残った。このビーカー内をよくかきまぜながら、10℃ から 30℃ まで加熱するとき、ビーカー内の水溶液の温度と溶けている炭酸ナトリウムの質量との関係は、どのように表され则认为られるか。図に実線で、かき入れなさい。



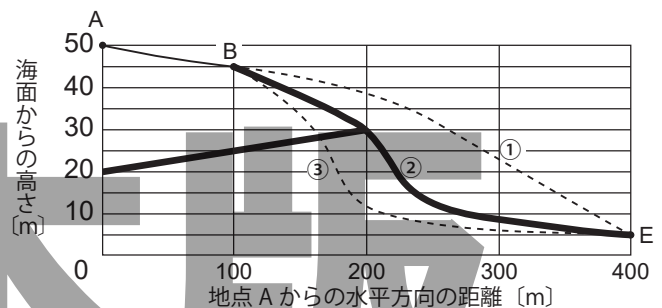
解答例と解説

理科 地学⑥

- 18 一郎さんは、市役所と図書館に保管されているある地域のボーリング試料と地形図をもとに地層や地形について考察した。次の文は、一郎さんと先生との会話である。
- 一郎：私は、図書館で図 1 の地形図を借りました。図 1 の曲線は等高線を、数値は海面からの高さを示しています。
- 先生：一郎さんが借りた地形図から、この地域の地形がよくわかりますね。他に何か調べたことはありますか。
- 一郎：私は、市役所に保管されていたボーリング試料をもとに、柱状図をつくってみました。図 2 の柱状図 a、b、c、d は、図 1 の地点 A、B、C、D における地下のようすをそれぞれ順に示したものです。ただし、地点 A、B、E と地点 C、D はそれぞれ東西の直線上に、地点 A、C と地点 B、D はそれぞれ南北の直線上に位置しています。
- 図 3 は、図 1 の地点 A、B、E を通り、水平面に垂直な断面を示したものであり、実線は AB 間の地表面を表している。**W** AB 間の地表面に続く BE 間の地表面は、①から③までの ----- のうちどれか。**H** 最も適当なものをなぞって実線にしなさい。さらに、**W** この断面で観察できる火山灰の層を **H** 直線で書き加えなさい。

■ 解答例 右の図

- 解説 ていねいな判断と作図が勝負です。図 1 の等高線から、40m～30m の間隔は広めで、30m～15m の間隔が狭いことがわかります。つまり断面は、40m～30m は比較的なだらかで、30m～15m の間で急になっていることがわかります。よって、②が答えです。
- また、図 2 の柱状図から A 地点の火山灰の層は地表から 30m（つまり海面から 20m）の地点、B 地点の火山灰の層は地表から 20m（つまり海面から 25m）の地点です。この 2 点を直線で結べば OK です。



- 19 ある日、透明半球を用いて、日の出から日没までの太陽の位置を記録したところ、東から西の方に向かって印が移動した。**W** このように太陽が動いて見えるのはなぜか。その理由を、**H** 地球の運動に着目して、簡単に書きなさい。

■ 解答例 **W, H** 地球が 1 日に 1 回自転しているから。

- 解説 **W** 「なぜか」とあるので、「～から」と答えます。
- ここでは、太陽の 1 日の動きを表していますから、地球の自転が正解です。なお、**H** 「地球の運動に着目して」とあるので、解答に「地球が」と書いておかないと減点の可能性があります。

理科 地学⑥

■ 18

一郎さんは、市役所と図書館に保管されているある地域のボーリング試料と地形図をもとに地層や地形について考察した。次の文は、一郎さんと先生との会話である。

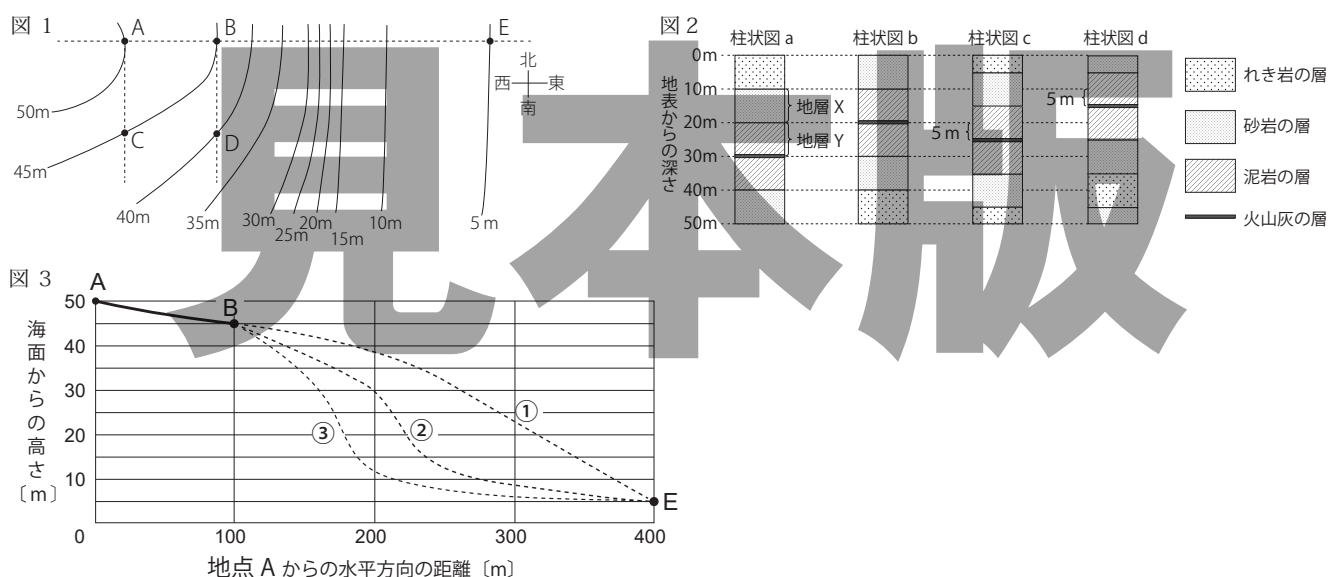
一郎：私は、図書館で図 1 の地形図を借りました。図 1 の曲線は等高線を、数値は海面からの高さを示しています。

先生：一郎さんが借りた地形図から、この地域の地形がよくわかりますね。他に何か調べたことはありますか。

一郎：私は、市役所に保管されていたボーリング試料をもとに、柱状図をつくってみました。

図 2 の柱状図 a、b、c、d は、図 1 の地点 A、B、C、D における地下のようすをそれぞれ順に示したものです。ただし、地点 A、B、E と地点 C、D はそれぞれ東西の直線上に、地点 A、C と地点 B、D はそれぞれ南北の直線上に位置しています。

図 3 は、図 1 の地点 A、B、E を通り、水平面に垂直な断面を示したものであり、実線は AB 間の地表面を表している。AB 間の地表面に続く BE 間の地表面は、①から③までの ----- のうちどれか。最も適当なものをなぞって実線にしない。さらに、この断面で観察できる火山灰の層を直線で書き加えない。



■ 19

ある日、透明半球を用いて、日の出から日没までの太陽の位置を記録したところ、東から西の方に向かって印が移動した。このように太陽が動いて見えるのはなぜか。その理由を、地球の運動に着目して、簡単に書きなさい。

社会 世界地理④

- 11 右の図は、ブラジルとオーストラリアの発電エネルギー源の割合を示したものです。**W**このことについて、**両国の特色**を、**H**次の語を用いて簡潔に書きなさい。〔降水量 石炭〕

■ 解答例 **W,H** ブラジルは降水量が多いので水力発電が中心で、**W,H** オーストラリアは石炭が多く取れるので火力発電が中心という特色がある。

■ 解説 **W**「両国の特色」なので「ブラジルは～、オーストラリアは～という特徴がある」と答えます。グラフを見れば「降水量・水力発電」「石炭・火力発電」という組み合わせがイメージできます。よく読めば答えられる問題です。なお、ブラジルはアマゾン川（流域面積世界最大）の支流などで水力発電がさかんであること、オーストラリアは、特に内陸部が乾燥帯で、水力発電には適さないことも覚えておきましょう。

- 12 表の A・B・C・D の国の中で、1990 年から 2008 年の期間に、経済が急速に発展し、電化製品の普及などによる **W1** 国民の生活の変化が顕著であったと考えられる国はどれか。**H1** 表の A・B・C・D の国の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。また、**H2** 表のどのような点を根拠として、**W2** その国で経済の急速な発展や国民の生活の変化があったと判断できるか。その根拠を、簡単に書きなさい。

■ 解答例 （記号）**W1,H1** C （理由）**W2,H2** 1人当たりのエネルギー消費量が特に増えている点。

■ 解説 資料読み取りの問題です。電化製品の普及とありますので、工業化の進んでいる国、つまりエネルギー消費量が増大している国を選びます。**W2,H2** 「表のどのような点を根拠として～判断できるか」とありますから「～点（を根拠として判断できる）」と答えます。表からわかることをそのとおりに書けば正解です。説明記述だからといって、絶対に捨ててはいけないタイプの問題です。なお、表の A はイギリス、B はアメリカ、C は中国、D はナイジェリアです。

- 13 資料 1 はガーナ、ブラジル、アメリカ、韓国の穀物の自給率を示し、資料 2 は、同じ国の穀物の輸出量と輸入量を示している。**H** 資料 1、2 から読み取れる、**W** アメリカと比較した他の 3 か国に共通する特色を書け。

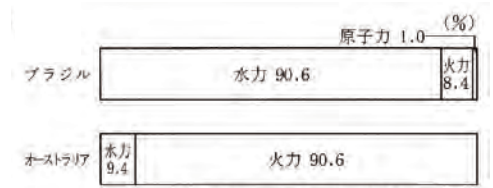
■ 解答例 **W,H** 穀物の自給率が 100%を下回っており、輸入量が輸出量を上回っているという特色（がみられる）。

■ 解説 **W** 「共通する特色」が問われているので「～という特色」と答えます。共通の特色は上の 2 つですが、どちらか一方でも書かないよりは書いたほうが点に結びつく可能性があります。それぞれの国の地理的特徴の知識は必要ないので、資料の数値を読んで、よく考えて書きましょう。

社会 世界地理④

■ 11

右の図は、ブラジルとオーストラリアの発電エネルギー源の割合を示したものです。このことについて、両国の特色を、次の語を用いて簡潔に書きなさい。
〔 降水量 石炭 〕



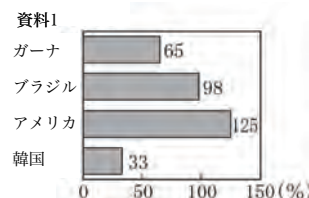
■ 12

表の A・B・C・D の国の中で、1990 年から 2008 年の期間に、経済が急速に発展し、電化製品の普及などによる国民の生活の変化が顕著であったと考えられる国はどれか。表の A・B・C・D の国の中から 1 つ選び、記号で答えなさい。また、表のどのような点を根拠として、その国で経済の急速な発展や国民の生活の変化があったと判断できるか。その根拠を、簡単に書きなさい。
(記号)
(理由)

国	人口 (百万人)		1 人当たりのエネルギー消費量 (石油換算 t)	
	1990年	2008年	1990年	2008年
A	57	61	3.60	3.40
B	255	312	7.65	7.50
C	1,142	1,337	0.76	1.60
D	97	151	0.75	0.73
日本	124	128	3.55	3.88

■ 13

資料 1 はガーナ、ブラジル、アメリカ、韓国の穀物の自給率を示し、資料 2 は、同じ国の穀物の輸出量と輸入量を示している。資料 1、2 から読み取れる、アメリカと比較した他の 3 か国に共通する特色を書け。



資料2

国	項目	輸出量 (千 t)	輸入量 (千 t)
ガーナ		7	1 528
ブラジル		9 005	9 679
アメリカ		79 896	8 962
韓国		178	11 957

社会 日本地理④

- 11 右の図表はそれぞれ三重県南伊勢町と愛知県名古屋市の人口の変化と 2010 年における南伊勢町と名古屋市の人口ピラミッドです。これらから読みとれる、**W 1**南伊勢町における人口の変化と、**W 2**65 歳以上に着目した人口構成の特色を、**H**それぞれ名古屋市と比較しながら説明しなさい。

■ 解答例 南伊勢町の人口は、**H**名古屋市が増加しているのに対して**W**減少している。また、南伊勢町は、**H**名古屋市と比べて、**W**高齢者の割合が高い。

■ 解説 設問が複雑なので整理します。

W1「南伊勢町の人口の変化」**W2**「65 歳以上の人口構成の特色」の 2 つを答えます。

次に **H**「それぞれ名古屋市と比較」して説明します。

ですから、解答の構成は、**W1**「人口は名古屋市は～だが、～という特色がある」**W2**「65 歳以上の人口構成は名古屋市は～だが、～である」です。

ここまではっきりさせれば、あとは図表の情報を読みとるだけです。

解答の組み立てができれば確実に解答でき、得点できる問題です。

- 12 資料 (都道府県別の在日アメリカ軍専用施設土地面積の割合) から、**W**沖縄県の在日アメリカ軍施設についてどのようなことが読み取れるか、簡潔に書きなさい。

■ 解答例 **W**在日米軍専用施設全体の土地面積に占める割合は、約 4 分の 3 が沖縄に集中している (ことが読み取れる) 。

■ 解説 **W**「どのようなことが読み取れるか」ですから、「～ことが読み取れる」と答えます (解答例のように省略もできます) 。

資料から沖縄県は他の都道府県と比べて圧倒的に多いことがわかります。

また、表示された 3 県以外にはあまりないこともわかります。

なお、語が長くて面倒ですが「在日米軍専用施設全体の土地面積に占める割合」は正確な意味がわからずに書きかえると、意味が変わってしまい、誤答になるおそれがあります。

面倒でもそのまま書くのが確実です。すると、最低限「沖縄に集中」と書けます。「沖縄に約 4 分の 3」などの具体的な内容を加えれば完全です。

- 13 日本企業 (製造業) の海外進出に関連する **H 2**つのグラフを読みとり、**W**日本企業 (製造業) がどの地域へ最も多く進出したかを、その理由とともに書きなさい。

■ 解答例 **W**賃金が安い、日本企業は **W**アジア地域へ最も多く進出した。

■ 解説 **W**「どの地域 + 理由」です。

「～から～地域へ最も多く進出した」と答えます。

この枠を決めてから、中身を決めます。資料を読むと地域はアジア、理由は賃金が安い、とわかります。

産業に関する「理由」のほとんどは「もうかる (利益が大きくなる) から」です。

このことをしっかり理解しておく、農産物や工場の分布 (立地) や、商業上のさまざまなことの理由が想像しやすくなります。

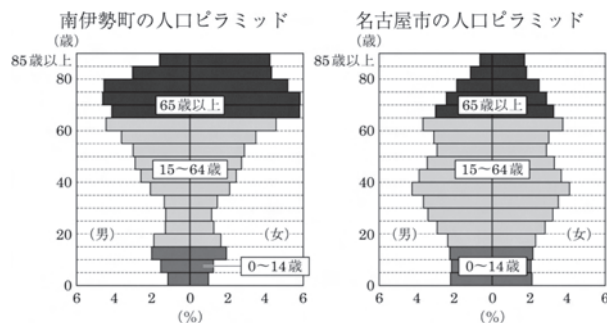
社会 日本地理④

■ 11

右の図表はそれぞれ三重県南伊勢町と愛知県名古屋市の人口の変化と 2010 年における南伊勢町と名古屋市の人口ピラミッドです。これから読みとれる、南伊勢町における人口の変化と、65 歳以上に着目した人口構成の特色を、それぞれ名古屋市と比較しながら説明しなさい。

南伊勢町と名古屋市の人口の変化(人)

	1965 年	1980 年	1995 年	2010 年
南伊勢町	31,592	23,883	19,673	14,791
名古屋市	1,935,430	2,087,902	2,152,184	2,263,894



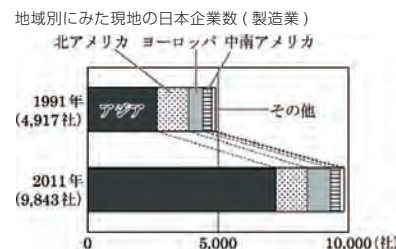
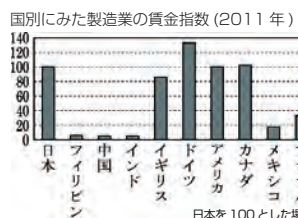
■ 12

資料（都道府県別の在日アメリカ軍専用施設土地面積の割合）から、沖縄県の在日アメリカ軍施設についてどのようなことが読み取れるか、簡潔に書きなさい。

都道府県名	在日米軍専用施設全体の土地面積に占める割合
沖縄県	73.94%
青森県	7.66%
神奈川県	5.86%
その他	13.54%
合計	100%

■ 13

日本企業（製造業）の海外進出に関連する 2 つのグラフを読みとり、日本企業（製造業）がどの地域へ最も多く進出したかを、その理由とともに書きなさい。



社会 歴史：近代・現代⑥

- 19 戦後の日本について **H** 資料 1 と資料 2 から読み取れる、**W** この時期の日本の経済の状況や日本人のくらしの変化について、簡潔に書きなさい。

■ 解答例 **W, H** 国内総生産が急激に増加し、高度経済成長をとげた（という変化）。**H** 自動車保有台数も増え、**W** くらしが豊かになった（という変化）。

■ 解説 **W** は 2 つ。「経済状況の変化」と「日本人のくらしの変化」です。
解答は「～変化」で答えるところですが、くどすぎるともいえるのでカットしてかまいません。
前者は高度経済成長、後者はくらしが豊かになったことです。自動車（電気冷蔵庫、テレビなど）の保有台数が急激に伸びました。
同時に各地で公害が発生し、環境問題が注目されはじめたのもこの時期です。

- 20 右のグラフは 1968 年（昭和 43 年）から 1975 年までの日本の経済成長率の推移を示し、資料は 1973 年 10 月の新聞記事の一部を示しています。グラフが示すように、**W** 1974 年に日本の経済成長率が大きく低下した主な理由を、**H** 資料をもとに、簡潔に書きなさい。

■ 解答例 **W, H** 中東戦争の影響で、原油の価格が引き上げられ、エネルギー源の多くを原油に依存していた日本の産業が大きな打撃を受けたから。

■ 解説 **H** 資料から「原油価格が上昇」し、グラフから「1974 年の経済成長率が下がった」ことが読みとれます。「原油価格が上昇し、石油の使用が制限されたため、日本の経済成長率が下がった」と、「石油が使えなくなった」ことをふくめれば、条件を満たした解答になります。
以上の内容は、グラフと資料を読めば、多少知識が不十分でも書くことができます。
手もとの情報を集め、条件にしたがって、どうにかして文にまとめる練習をすることが、得点力アップにつながります。

- 21 長崎県にある端島炭鉱、通称「軍艦島」の住民は 1974 年には完全にいなくなり、島は廃墟になった。この **W** 原因として考えられる日本の経済的背景を、**H** 資料 I、II を関連づけて書きなさい。

■ 解答例 **W, H** 主なエネルギー源が石炭から石油にかわり、必要な炭鉱の数が減少した。

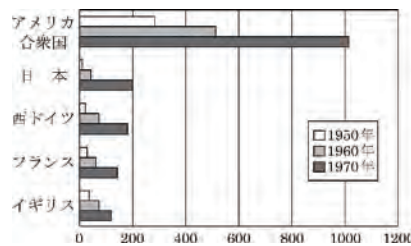
■ 解説 **W** は「経済的背景」です。**H** 資料 I から「1970 年代以降、エネルギー供給が石炭から石油に変わった」ことと、**H** 資料 II からは「1970 年代以降の稼働炭鉱数が激減したこと（＝石炭産業の衰退）」が読みとれます。
最低限「エネルギーが石油中心に変わり、石炭があまり使われなくなった」でも得点できます。ただし、「石炭はいらなくなった」では言いすぎです。なお、理由を問われているので、解答の終わりは「～から」が確実です。
以上の内容は、グラフと資料を読めば、多少知識が不十分でも書くことができます。
なお、「エネルギー革命」は、石炭（主に国内産）から石油（輸入）へのエネルギー資源の転換です。この影響は、特に九州の炭鉱や工業地帯に打撃を与えました。それまで、エネルギー資源に近いことが有利だったのですが、生産した鉄鋼などの大消費地である、いわゆる「三大工業地帯」に遠いという不利な面が浮かび上がったのです。

社会 歴史：近代・現代⑥

■ 19

戦後の日本について資料 1 と資料 2 から読み取れる、この時期の日本の経済の状況や日本人のくらしの変化について、簡潔に書きなさい。

資料 1 主な資本主義国の国内総生産(十億ドル)

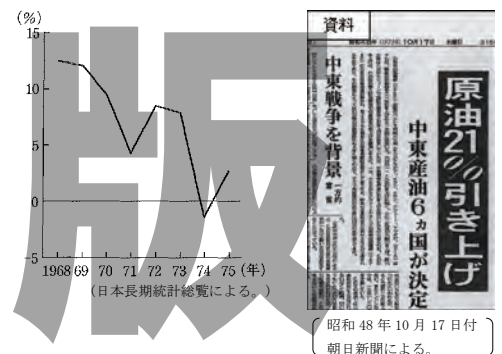


資料 2 自動車保有台数(十万台)

	1950年	1960年	1970年
アメリカ合衆国	492	739	1,084
日本	2	13	172
西ドイツ	10	56	156
フランス	25	70	144
イギリス	34	72	136

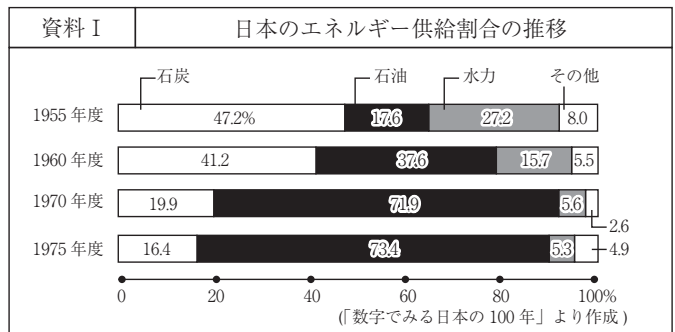
■ 20

右のグラフは 1968 年（昭和 43 年）から 1975 年までの日本の経済成長率の推移を示し、資料は 1973 年 10 月の新聞記事の一部を示しています。グラフが示すように、1974 年に日本の経済成長率が大きく低下した主な理由を、資料をもとに、簡潔に書きなさい。



■ 21

長崎県にある端島炭鉱、通称「軍艦島」の住民は 1974 年には完全にいなくなり、島は廃墟になった。この原因として考えられる日本の経済的な背景を、資料 I、II を関連づけて書きなさい。



資料 II 日本の年間稼働炭鉱数の推移

年度	北海道	本州東部	本州西部	九州
1955	106	142	75	484
1960	145	96	56	385
1965	18	29	13	137
1970	46	8	5	43
1974	24	5	1	9

(「日本石炭関係統計資料」他より作成)

社会 公民：政治分野②

- 5 ある回転ずし店では、受付用紙を資料1のように変更した。**W**なぜ店は、このように受付用紙を変更したと考えられるか、**H**資料1と資料2を関連づけて、**H2**「効率」という語句を使って書きなさい。

■ 解答例 **H1** 前もって客に座りたい席の希望を書かせているので、順番が後ろの客でも、空いているカウンター席に案内することができ、**W** 店にとって、席が埋まるという点で **H2** 効率がよいから。

■ 解説 **W** 「なぜ」という質問なので「～から」と答えます。
一言でいえば「効率がよいから」。これが最低限の内容です。
ただし **H** 「資料を関連づけて」とあるので、資料について書かなければいけません。資料1から、新しい受付用紙には、希望の座席の欄が追加されたことがわかります。そして、この受付用紙を使えば資料2にある空席が埋まり、店側にとってもお客を待たせることがなくなる（効率よくお客にサービスを提供できる）ことが想像できます。
以上の点をまとめてあればOKです。

- 6 **W** 「法の支配」について、**H1** 右の図を参考にし、**H2** 「人の支配」との違いにふれて、説明しなさい。

■ 解答例 **H1, H2** 人の支配とは国王などが権力を自由に行使することだが、**W, H1** 法の支配とは、政府の政治権力が、国民が制定した法に制限されることである。

■ 解説 図から読み取れることを記述します。知識がなくてもある程度解答可能です。
W 「法の支配」について **H2** 「人の支配との違いにふれて」説明するように指定されているので、「人の支配とは～だが、法の支配とは～である」と答えます。
また、**H1** 「右の図を参考にし」とあるので、なるべく図の用語を生かして書くべきです。
順番は「法の支配とは～である。～という人の支配とは違う」のように、逆でもかまいません。

- 7 日本国憲法の基本原理の1つである **W** 国民主権とはどのようなことか、簡潔に説明しなさい。

■ 解答例 **W** 国の政治のあり方を最終的に決める権利が国民にあること。

■ 解説 **W** 「どのようなことか」なので「～こと」と答えます。
「国民に主権があること」でも解答は成り立ちます。ただしあまりにそのままなので、厳しく採点されると減点や不正解の恐れもあります。書けなかった人は、しっかりおぼえましょう。なお、権利を行使する主な方法は「選挙（代表者を選ぶこと）」です。この方法を間接民主制といいます。ただし、主権者である国民が、国政に直接かかわることもあります。代表例は、憲法改正の際の国民投票です。

- 8 **W** 平和主義に関して、日本国憲法の第9条で定められていることを **H** 2つ、簡単に書きなさい。

■ 解答例 **W, H** 戦争を放棄すること。 / 戦力を保持しないこと。 / 交戦権を認めないこと。（左から2つ）

■ 解説 平和主義の内容は穴埋め問題でもよく出題されます。
解答例は文になっていますが、**W** 「定められていること」と名詞で問われているので「戦争放棄、戦力不保持、交戦権の否認」と解答しても正解です。
なお、「こと」をつけるのが望ましいのですが、「戦争を放棄する」のように、つけなくても誤答にはならないでしょう。

社会 公民：政治分野②

■ 5

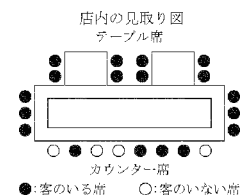
ある回転ずし店では、受付用紙を資料1のように変更した。なぜ店は、このように受付用紙を変更したと考えられるか、資料1と資料2を関連づけて、「効率」という語句を使って書きなさい。

資料1

変更前の受付用紙		
番号	ナマエ	人数
1	サトウ	4
2	スズキ	2
3		
4		

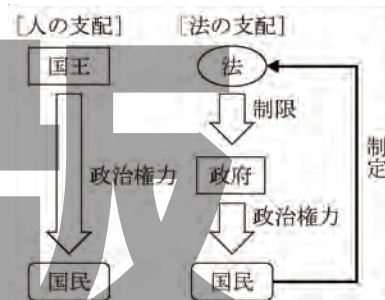
新しい受付用紙			
番号	ナマエ	希望の座席	人数
1	サトウ	カウンター席 テーブル席 どちらでもよい	4
2	スズキ	テーブル席 カウンター席 どちらでもよい	2

資料2



■ 6

「法の支配」について、右の図を参考にし、「人の支配」との違いにふれて、説明しなさい。



■ 7

日本国憲法の基本原理の1つである国民主権とはどのようなことか、簡潔に説明しなさい。

■ 8

平和主義に関して、日本国憲法の第9条で定められていることを2つ、簡単に書きなさい。

社会 公民：経済・国際分野⑤

- 17 H 資料 1 と資料 2 から W 日本の労働者の労働時間の特色を、H 「先進国」と「企業規模」という 2 つの語句を使って、簡単に説明しなさい。

■ 解答例 (日本の労働者の労働時間は)W,H 先進国の中でも長く、W,H 企業規模が小さいほど長い(という特色)。

■ 解説 W 「特色」ときかれていますので、「～という特色」と答えるのが確実です。
資料から「先進国の中でも労働時間が長い」と「従業員数の少ない企業のほうが労働時間が長い」ことが書けていれば正解です。
これは知識不要の問題で、資料を正しく読みさえすれば解答可能です。
絶対にとばしてはいけない問題です。なお、解答例の()の部分は省略してもかまいません。

- 18 右のグラフは、1990 年と 2005 年における我が国の予算の歳出の内訳を示しています。W グラフから読み取れる特徴的な変化を、H わが国の人口構成の変化と関連づけて書きなさい。

■ 解答例 H 少子高齢化が進むにつれて、W 社会保障関係費の割合が高くなっている(という変化)。

■ 解説 設問にある「人口構成の変化」から「(少子) 高齢化の進行」を推理します。
「人口の変化」なら、近年の人口増加から減少に転じたことがあります。「人口構成」なので、「(少子) 高齢化」とみるべきです。
W は「特徴的な変化」です。したがって「少子高齢化に最も関係の深い項目」を探し、それについて書きます。
「少子高齢化が進むにつれて」の部分は「高齢者の割合が高くなるにつれて」でも OK です。
なお、「割合が増える」という表現は減点される恐れがあります。
割合は「高くなる」または「大きくなる」ものです。

- 19 ODA (政府開発援助) について、右の資料を作成した。W1 ODA の目的と W2 資料から読みとれる日本の ODA の特徴について、簡潔に書きなさい。

■ 解答例 W1 ODA は、発展途上国への援助が目的。W2 日本の場合は、アジアへの援助の割合が高い(という特徴がある)。

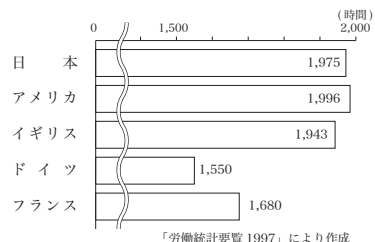
■ 解説 W1 「ODA の目的」と、W2 「資料から読みとれる特徴」がきかれています。
W1 「目的」なので「～目的」と答えます。W2 「特徴」については、アジアへの支援が最も多いことに触れていれば OK です。
「アフリカへの援助額が減少している」という解答は、2 つの問題があります。
まず、問われているのは変化ではなく特徴なので、解答の内容がややずれます。また「援助額」が増えたかどうかはグラフからはわかりません。
グラフには割合しか表示されていないからです。
データ読み取りの問題では、金額や生産高などの「量」と、割合をごっちゃにしないように注意してください。
なお、割合は「高い・低い」または「大きい・小さい」で表現します。

社会 公民：経済・国際分野⑤

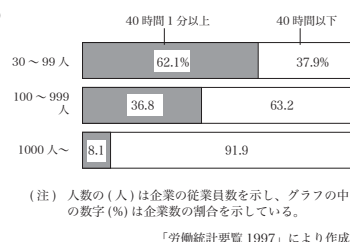
■ 17

資料 1 と資料 2 から日本の労働者の労働時間の特色を、「先進国」と「企業規模」という 2 つの語句を使って、簡単に説明しなさい。

資料 1 製造業生産労働者の年間実務労働時間の国際比較 (1995 年)

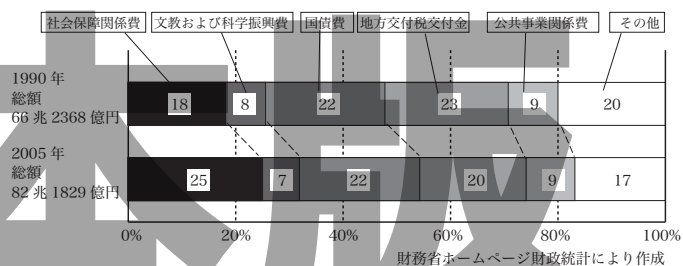


資料 2 日本の企業規模別週あたり労働時間の比較 (1995 年)



■ 18

右のグラフは、1990 年と 2005 年における我が国の予算の歳出の内訳を示しています。グラフから読み取れる特徴的な変化を、わが国の人口構成の変化と関連づけて書きなさい。



■ 19

ODA (政府開発援助) について、右の資料を作成した。ODA の目的と資料から読みとれる日本の ODA の特徴について、簡潔に書きなさい。

日本の地域別 ODA 実績の割合 (支出総額ベース)

